

会 議 記 録

記録者：鈴木達也

会議名称	まちづくり懇談会（若宮地区）
開催日時	令和４年９月３０日（金）１９：００～２０：３０
開催場所	若宮コミュニティセンター
出席者	参加者：２９名 町：町長、副町長、佐藤政策財務課長、遠藤庁舎整備課長、佐野庁舎整備班長、鈴木

<会議内容>

報告・協議

- ・町長あいさつ
- ・説明・・・新庁舎建設について、財政状況について
- ・懇談・・・将来のまちづくりについて（新庁舎建設場所等）、町政全般について

（町民）

将来の話をするうえで、クリアしないといけないことがある。６月議会にて請願書が出て今現在の動きになっているが、請願書の内容に場所の移転については書いていない。しかし議会を通った結果、再考も含めた話となっている。このことについての説明責任がある。江戸鮪跡地の購入解体にお金を使用したのに、手のひらを返すように建設場所再考となっている。そもそも請願を出した方の意思を確認したのかどうかを、議会の方で町長含め町民の方に説明すべきではないか。

（事務局）

議会から意見書が出され、建設予定地についても含め再検討をという内容であり、町としてはそれを尊重し、このようにまちづくり懇談会などで皆さんの意見を聴いている。ただその中で４年前に決定された案件についても尊重しているため旧江戸鮪の購入及び解体も実施している。いずれにしても旧江戸鮪跡地については解体しなければならないと進めてきた。議会の話については介入すべきではないと考えている。

(町民)

今の町長の話については理解できたが、そこで意見書を出した議会の方々にも説明責任はあると思います。その説明をする場を設けるべきだと思います。不透明なまま今の場所ではない所に移ってしまった、全員が納得する形は無理だと思うがこの形では到底理解できないし納得も出来ない。お金を使っているながら財政からも説明あったように決して裕福な状態ではない、その3000万をどぶに捨てて、そこをご理解していただいているのか。そういう部分を議員は説明すべき。

アンケートについて、幅広く町民の声を聴くという説明だが、どのようにアンケートを取るのか。町の借金についてだが、建設費用確保のための多額の借入の可能性があるといるが、将来の財政のシミュレーションで見込んでいるのか。

(事務局)

アンケートの内容については、10代から高齢の方まで年代を区切り無作為抽出で対象者を考えており、地区ごとにバランスよく1,500名ほどの方々を対象とし実施する。質問事項としては、請願及び意見書が出ている中で、庁舎の建設場所含め再考すべきかどうかといった部分のアンケートを考えている。

(町民)

1,500人というのは幅広い意見といえるのか。

(事務局)

統計上のサンプル数の算出方法に基づいて、人口15,000人程度の場合に必要なサンプル数を算出し、回答率も考慮し1,500名とした。

(町民)

前回のアンケートの際、1,300人を対象とし回答率が44%ほど。半分以下であるが、それを幅広くと言えるのか。

(事務局)

どう判断するかによる。前回は30%の回答率を見込んでの1,300名を対象としたアンケートであった。実施後の回答率は44%であり、統計上のサンプル数から見ると有効だったと判断している。

財政については10年間のシミュレーションをしている。庁舎は50～60年程度は使用するものであり、返済期間についても長くとることが考えられる。当然この後の世代の方々の使用するため、負担についても後の世代にもかかるものと考えている。そうはいつても、あまり長く返済期間を設定してしまつては、いつまでも借金が減らないという状況となるので、概ね25～30年程度と考えている。

実際、新型コロナの影響で事業が未執行となった部分は近年あったが、ソフト事業がほとんど

のためトータル的にはそこまで大きな影響ではなかった。昨今の交付金はコロナ対策＋経済対策というような形で使用が認められており、町としては今までなかなかできなかった・我慢していた事業を実施することもできた。今後同じような経済対策が来るかどうかはわからないが、そういったことに備えて積み立てもしており、今後借金も減っていく中で、様々な面に財政として手当ができるようになると考えている。

(町民)

今まで住民が我慢してきたようなことはないと期待していいのか。

(事務局)

全てなくなるという事にはならないが、一昔前のような何もできないという状況にはならない。新庁舎の借金返済を年9,000万円程度とした際で考えており、ずっと余裕がない状況が続くわけではない。

区長自治会長から集約している要望事項等についても、解消していこうということで今年度は8,000万円程度使用した。今後も要望に応えていけるようにと考えている。

(町民)

事業の進め方について、議会ももちろんそうだが、一度進んでしまったものをストップしたり方針を変更する事は大変だと思う。請願書が出たからといって方針を変更するメリットがなければなかなか難しいと考えるが、そういったことが何かあるのか。

(事務局)

全国どこでもあることだが、首長が変わると変更したりすることもある。

(町民)

今言ったのは、場所の話に戻してまでやるメリットは何なのか。

(事務局)

新庁舎を建設するにあたり、社会福祉協議会や観光物産興等から一緒に入りたいといったような要望もきており、そういったことも見込みながら、今の敷地面積の中でどのようにすれば収まるのか、北側斜線制限のこともあり高層階は難しい、それらの判断の作業を今進めている。

(町民)

質問した内容と異なる返答だったが、望むところは一つの意見にまとまるような方向性をもってやってもらいたいことと、候補地にあたってはできるのであれば国道の所に作ってもらうのが一般的なのではないかと思うのでぜひ広く考えてほしいと思う。

(町民)

基本理念の方針は4年前からつくられているものか。

(事務局)

基本的な考え方についてはあらためて再考させて頂いて今まだ案の段階である。

(町民)

基本理念の中に災害に備える防災拠点、ゆとりある駐車スペース等とあるが、現建設予定地は街なかで非常に狭い。こういった場所に新庁舎を建てることはどうなのか。大震災もそうだが、災害というのは想定できないものだ。会津は比較的災害に強い地域ではあるが、いざ災害が起きたときに自衛隊の車両が来たり防災ヘリが来たりということがある、そういう面を考慮するとやはり広い場所でないと機能しないと思う。幹線道路沿いに建てるのが一番良い。近隣市町村も郊外に建てているが、将来的なことを考えるなら、坂下ももっと広い場所であって来庁しやすい駐車場整備や防災を兼ねた広い敷地でないと。これから20、30年後にやっぱりここに作ってよかったと思えるようにして頂きたい。

(町民)

今ほどの意見に反対するわけではないが、将来人口がどれくらい減るか統計は取っているのか。だんだん町は縮小していく、そういった事も考えてほしい。役場庁舎に用事があるというのは、普通の人の場合、結婚・離婚・死亡・出産、この4回くらいでないか。所得証明とかもあるが、一般的にはこのくらいだろう。それで皆さん広い所が良いと言うが、この先人口減少していく中で広い場所に立派な建物がいるのか。今の場所の方が良いというわけではないが、今の規模でも十分ではないかと考える。

(町民)

アンケート調査をするということだが、今の発信の仕方では若い人たちに新庁舎について把握してもらうのは難しい。世代によって見るものが全く違う。今役場の隣で美容室を経営しているが、お客様は新庁舎について把握していない、逆に私にどうなるか聞かれるくらい。若い人たちは把握していない、興味を持っていないのが現状だと思う。だからまず、自分たちがどういう思いでこういうことをしているのかや、本当に若い人のことを考えているのであれば、リアルな若者へ向けたメッセージを伝えていかないと熱量のないアンケートしか返って来ないと思う。もっと若い世代にメッセージを送る方法を考えなくてはいけない。

(町民)

大事な部分が見えない、こういうものを作る場合は、予算・設計図・場所が決まった段階で出てくるのではないか。一番大事なのは予算だ、会津若松市は基金から50億円拠出し、持ち出しは5億円のみらしいが。分かる範囲で予算・設計図・場所を知りたい。

(事務局)

場所については現在皆さんと議論しているので省略。予算としては、4年前の試算データだが、延床面積4,000㎡程度、建設費だけで20億円ほど試算していた。規模についても検討中の段階ではあるが、少なくとも20億円以上はかかるとみており、20～30億円の間で考えている。設計図は具体的に寸法の入ったものはない。配置・間取り等を検討している状況。

(町民)

それらを出さないと議論にならないのではないかと。あまりにもざっくりし過ぎている。もっと詰めてから議論するべき。

(事務局)

まちづくり懇談会についても、今後何回か開催していく考えであり、段階に応じて詰めた内容を示しながら実施していきたい。

(町民)

今回4カ所の候補地があがっているが、厚生病院跡地と坂下高校跡地はもともと入っていなかったと思うが、未利用地というのとらえ方で良いのか。人様の土地を建設予定地として新聞に掲載してしまっている気がするが。また坂下高校跡地は基本理念の中にあるアクセス機能からすると、踏切等がありアクセスが良い所ととらえるには非常に難しいと思うが。

(事務局)

ごもっともな意見です。未利用地としての考え方は先ほど言ったように、町の所有地以外でも広く空いている土地という意味で示した部分であり、これら以外の広い空間も含めて、幅広く皆さんの意見を聴きながら検討したいということで提示した。坂下高校跡地のアクセス性についてだが、市街地から向かうのに踏切があったり幹線道路沿いでもないという部分ではメリットはない。しかし場所を決めるにしてもメリット・デメリットが各々あるので、それら含めて皆さんと懇談しながら考えていきたい。

(町民)

意見を聴きながら進めていくとのことだが、今後のスケジュールはあるのか。

(事務局)

令和4年3月に議会全員協議会で示したスケジュールでは、令和4年度より事業再開、令和6年度に着手、令和7年度に完成というスケジュールである。しかし、今現在そのスケジュールは遅れているが、現庁舎の老朽化により職員・来庁される方含め大変危険であるので、なるべく早く建て替えしていかないと考えており、そのスケジュールに近くなるよう目指している。

(町民)

令和6年着工予定とすると、今後のスケジュールの中で場所を決めていくかなりの意思決定はかなり短期間になると感じる。その中で町民の意見をどのようにして反映していくのか。今後説明会にしる何にしる規則の中で進んでいくと思うが、手続き等はちゃんとやってほしい。あとはみんなの意見をしっかりと聞き入れながら進んでほしい。

(町民)

災害、地震について言いたいのが、何年間か長崎に住んでいた時に熊本の大地震を目の当たりにし、役場庁舎みんなやられる、土層がまずやられる。終わってから自衛隊がボランティアが2万人入ってくる。だからどうやって管理するのか、たぶん私は会津大地震は来ないと思うがもし来た場合は坂下は鶴沼球場にヘリコプターが来るのではないかと。私が坂下町で危ないと思っているのがため池。使って管理している間はよかったが、今はほとんど使っていない。手入れも出来ないため池は危ない。大雨が降ると抜ける、何年か前に水島の堤に行ってみたが、下の出戸田沢の人たちが避難したということもあったが、まずその辺が優先順位を上に向けていかないと諏訪神社から牛沢までの街道を、歩道をつくってほしい。あとは色々あるが、これ危ないとかずっとやっていくと役場をつくるのはそんなに優先順位高くないのではないかと。もう一回ちゃんとした議論、きちんと依頼して会津の地震がこのくらいだというきちんとした裏付けをおそらくやってないだろう。私は今の段階ではちゃんとした計画も出してなくて、これから皆さんの意見を聞いてという話だったが、ぜひじっくり考えて造って頂きたいと思う。

(町民)

庁舎を建てる際に、災害等にどのような対策を取るのか。

4年前のアンケートでは南幹線44.5%、営林署27%、本庁舎21.5%という結果になっているが、検討員会ではその数字を町の中心地活性化を望む意向が感じられるとしていたが、南幹線の44.5%はどのように捉えるのか。住民にこういうことだと表現することをしっかりやってもらいたい。

(事務局)

防災マップについてだが、現庁舎付近は1m程度の浸水の可能性があるという地域である。今防災マップの見直しをしていて、以前よりも浸水地域は広く、また深くなるよう改訂される予定。これらに対してどう対策していくかということで、庁舎の構造・機能もそうだが、水路の整備も含めて検討したり、盛り土や基礎の高さも検討し設計に反映させていきたい。建物中においても重要な機能が浸水しないようにする等の対策も考えていきたい。

アンケートの件だが、目的なども含めていろんな意見があったので、意見が出やすいように進めていきたい。

(町民)

全世帯にアンケートは考えていないのか。

(事務局)

今のところ考えていない。

(町民)

建設場所の決定はいつ・どのようになるのか。

(事務局)

9月議会の一般質問の中で、今年中には町長の口から発表したいと議会に伝えている。その前に町長の考え、これからの皆さんの意見を踏まえながら、町長が最終的に判断させていただきたいと答弁している。

(町民)

その議会の決議で決定ということによろしいのか。

(事務局)

いつごろ議会に出すのかという部分に関しては議会との調整。

(町民)

ちなみに9月の議会はいつごろユーチューブにアップされる予定か。

(事務局)

確認してお知らせする。

(町民)

今の件に関してだが、12月には町長の口から発表するということは、あと90日程度しかない、それまでにまずは議員さんたちの説明を聞かなければならない。それをしっかりと実施した後、そういった流れにしてもらいたい。となると90日では厳しいのではないか。もう少し熟慮されたらいかがか。

(事務局)

当然熟慮しなければならないと思っているが、12月までには判断したい。そうでないとスケジュールとしても延びていってしまう。

(町民)

そのためには住民への十分な説明が必要。説明会なり、そのテーマに絞ったものをが必要だと思う。早急に計画を立て、話を進めることを要望したい。

(事務局)

議会の方に伝える。

(町民)

アンケートについてお願いがあるが、これから1番大変なのは30・40代の職員が借金をもろにうける。そういう職員と話していると、なんで南小学校に役場が建たないのかと思っている人が結構いる。何年か経つと小学校は2ついらない、だから南小学校が一番いいと思う、という若い職員がいる。そういうものをうまくつくりかえていった方が有名になると思う。そういうものを示す一番いい機会だと思う。無理して新しいものを建てる必要はない。若宮小学校もそうだが、使い続けた方がよっぽど賢いと思う。あともう一つ、役場庁舎から少し離れるが、百姓を一所懸命やっていて、すこし災害があつたりするとだめかなと、将来が見えないと若い人たちが言っている。前に齋藤前町長と一緒に農水省に行って話を聞いたことがあるが、たぶん地方交付税で1億2億返ってくると思う。1ヘクタール最小単位で2ヘクタールの補助を付ける。草刈が今一番大変。農業そのものを変えていかなくてはならない、農家そのものがいなくなってしまう。私は果樹をやっているが、少し体が不自由な人ほどまじめに仕事をする。休めと言われぬまで休まない。そういう単純作業をそういう人に働いてもらって賃金を払う、そういう仕組みを町長に作ってほしい。人が足りない。

(事務局)

条件がはまらないと事業が出来ないという事があるのでなかなかハードルは高い。

農家ばかりではなくて、どうしたら人手の確保をできるのか、いろいろ試行錯誤しながら実施している所。

(町民)

坂下町に7つのコミセンがあるが、若宮だけが県道に面していない。道路事情がものすごく悪い。

通学バスが通っているが、その他の人は乗る機会が全然ない。

乗合自動車を検討してもらいたい。